

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		長浜での暮らしを選択する若者を増やしたい	長浜市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	キット掴める ながびじプロジェクト		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	滋賀県立虎姫高校究理ⅡL16班		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生 ドロップダウン選択→	アイテムを選択してください。3	
チームメンバー数(公開)	4名		
代表者(公開)	山内結心		
メンバー(公開)	奥長彩知、小畑結愛、北川咲南		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

- 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

- アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名([メンバー一覧ページ](#)を参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
- 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
- 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
- この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

- 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
- 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 →

＜チームメンバー名簿:[メンバー一覧ページ](#)＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動（サービス）を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でワクワクするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。2 ページ以内でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

<解決したい課題のポイント>

長浜市の人口の減少

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみること）が大切です。

<提案するアイデアの内容>

「キット揃める ながびじプロジェクト」

長浜市でビジネスをしている人、起業したい人に向けて長浜市で、フリーマーケットのようなイベントを開催

【目的】

長浜市で起業したい人は、実際に起業した人たちと交流し、相談や話を聞いたりできる。

長浜市で起業している人は、自分で作った商品を販売でき、知ってもらえる、新しい企業さんや仕事を依頼してもらえる。

地元の人や、長浜市外の人達も商品を買える。長浜の魅力、新しい企業を知れる。

お互いに利点の多いイベントを開催する。

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由(なぜ)を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

<参考:以下のように理由を書いていきます>

※根拠: このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け: その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。(定性データを含めて歓迎)

長浜市全体、長浜市でビジネスをしている人、移住してきた人の実際の声をインタビューして、長浜の魅力や取り組んでいることを聞き、アイデアを膨らませる

背景

- ・長浜市の若者世代の人口が年々減少している（大学や仕事、子育てをするために）
- 長浜市の人口を増やすことでお店や経済の発展（移住者や長浜に住む人を増やす）

方法

① 市役所に行ってインタビュー（いざない湖北、未来こども若者局）

【長浜市の見つけ方】

- ・遊びに来た時に知る ・琵琶湖の近くに住んでみたい思い
- ・田舎暮らしがしたいという思い ・仕事関係で etc…

【魅力】

- ・人の良さ ・自然が多い ・地域の人が仲良くしてくれる、受け入れてくれる

【課題】

- ・働く場所が限られている ・大学や就職が限られてくる

【長浜市が行っている取り組み】

- ・空き家バンク ・東京、大阪、名古屋でのイベント ・インターネットでの情報発信 ・空き家見学ツアー
- ・田舎暮らし体験 ・育児休暇の利用 ・育児、起業などの支援

②実際の移住者の方にインタビュー

【魅力】

- ・ほどよい田舎 ・自然が豊か ・人とのつながり ・ご飯、空気が美味しい ・人が面白い
- ・ビジネスチャンスが広がっている ・広大な土地で密な人間関係

【困ったこと】

- ・雪が多い ・車がないと移動に困る ・若者が少ない ・病院、進学先（高等教育）が少ない
(皆さん困ることは無いかなと第一声で仰っていた)

【生活の違い】

- ・人との繋がりが密接になった ・都会よりも固定費が安い ・規則正しい生活を送れるように

色んな方にインタビューした結果、長浜市にはとても魅力があり、ビジネスがしやすい環境であり、チャンスが無限に広がっているということが分かった

だからこそ、もっと長浜市の魅力を知ってもらい、実際長浜市に来て、起業したい！という人を後押しできるようなイベントを開催したいと考えた。

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. 長浜市、長浜市の高校生
2.  長浜市で起業している人たち、お店やものづくりをしている人たち
→ 町内会などで呼びかける、一軒一軒にオファー(DM でお願ひする)、求人サイト

 イベントを広めてもらうための広告デザイナー
→ 長浜市在住のデザイナーさんに依頼

 イベントに来てくださる起業志望の人たち
→ 起業について相談できる施設、大学などに宣伝、ポスター、SNS 運用

 地元や長浜市外のお客さん
→ 回覧板、SNS、ポスター、SNS の広告

 長浜市で作られている商品、広告(ポスターや SNS)、アクセスの良いイベント会場(駅前とか豊公園)

 会場費、広告費、会場装飾費

規模は 10~20 店舗ぐらいを想定、相談できるようなスペースも作る

3. 長浜市役所の方に企画を提案&協力をお願いする
長浜市でビジネスをしている人たちに出店してもらえるようにオファー(相談に乗ったり、お話ししていただけるように)会場をおさえ、デザイナーの方に広告を作ってもらう
全国にイベントの存在を広める(ポスター、SNS、回覧板など)

イベント開催!!